

2012 年度 パワーアカデミー研究助成 「特別推進研究」の募集要項

パワーアカデミーでは、活動の大きな柱の1つとして「産学共同研究の促進」を掲げています。これは、「パワーアカデミー研究マップ」に基づき、電力供給システムの将来、高度なエネルギー利用、経年設備のリフレッシュ・高機能化など様々な視点から、産業界の中長期的な課題を想定し、アピール性が高く魅力的なテーマを設定して、産学共同研究を促進する取り組みです。

* パワーアカデミー創設の目的や取り組み内容、活動の趣旨などについては、パワーアカデミーのWEBサイトをご覧ください。パワーアカデミーとは:<http://www.power-academy.jp/about/>

* パワーアカデミー研究マップの詳細および研究マップが目指すものについては、パワーアカデミーのWEBサイトをご覧ください。

パワーアカデミー研究マップ:<http://www.power-academy.jp/about/outline/ol00200.html>

1. 「特別推進研究」研究助成の趣旨・内容

「特別推進研究」では、大学・高等専門学校間の連携を通じた波及効果が期待できる電気工学分野での研究助成を実施致します。

エネルギーの効率的な利用を目指して、需要家側でのエネルギー管理や電力品質管理の高度化の重要性が高まるとともに、再生可能エネルギーをはじめとする電源の多様化も見込まれます。このような中で、省エネルギーと電力供給の信頼性や安定性の確保をともに実現するために、次世代の電力システムを構築していくことが必要です。

これらを支える様々な技術が考えられますが、代表例として以下のようなものがあります。

- ・ 長距離大容量送電技術
- ・ 小型・省スペース大容量送電技術
- ・ 平常時運用・制御技術
- ・ 緊急時制御・復旧時制御技術
- ・ 再生可能電源の大量導入に対応した解析手法
- ・ 電力取引増大への対応方策
- ・ 電力貯蔵技術
- ・ 太陽光・風力発電の出力予測技術
- ・ 新たなグリッド技術
- ・ 再生可能エネルギー利用拡大に向けた最適システム
- ・ エネルギー管理システムの高度化および省エネ評価手法
- ・ 高効率・高性能・多機能的な機器

これら技術の研究開発を促進するため、2012年度は、以下のテーマにて公募を実施致します。

募集テーマ
「更なるエネルギーの高度利用を目指した
次世代電力システム」

上記募集テーマは、多様な研究領域に関わるテーマと考えられ、多面的なアプローチによる課題の解決が望まれます。したがって、課題の解決に向けては、複数の教員の方々の専門性を最大限発揮していただき、その相乗効果により、課題の解決を図ることが不可欠と考えられます。そのため、「特別推進研究」は、大学・高等専門学校に所属する複数の教員による共同研究として応募していただくこととします。

2. 研究期間

1年または2年間

1年間の場合:2012年12月から2013年11月まで

2年間の場合:2012年12月から2014年11月まで

3. 助成規模

1件当たりの予算総額は1,000万円～2,000万円の範囲とし、1～2件を採択予定。

4. 応募資格

共同研究者は、日本国内の大学または高等専門学校に所属する常勤の教員^(注1)とし、複数教員での応募をお願いします。

なお、「特別推進研究」への共同研究者としての応募は、1人1件とさせていただきます。ただし、「特別推進研究」に応募された教員が、「萌芽研究」へ応募することは可能とします。

(注1):教授、准教授、講師、助教、助手

[・「萌芽研究」の募集要項へ](#)

5. 選考方法

選考にあたっては、下記の着目点およびこれまでの採択実績に基づき、パワーアカデミーが厳正かつ公平に選考致します。その際、必要に応じて研究内容等に関するヒアリングをお願いする場合があります。

なお、応募者の個人情報、知的財産等に係る情報に配慮し、選考の経過や内容、他の応募者に関する事項等への照会には応じられませんのでご了承ください。

選考着目点

- ・研究内容が独創的あるいは先駆的であるか。
- ・研究内容の遂行に対して意欲的か。
- ・電気工学分野における大学・高等専門学校間の連携を通じた波及効果が期待でき

るか。

6. 留意事項

応募者には予め、下記事項をご了承いただいていることと致します。

- (1)採択者リストをパワーアカデミーWEBサイトに掲載させていただきます。
- (2)採択された研究代表者の方には、採択式に出席していただく予定です。
- (3)パワーアカデミーが必要と認めた場合、助成金の支出記録の提示をお願いすることがあります。
- (4)助成期間中、研究の進捗状況確認のため、簡易な中間報告書、最終報告書を提出していただきます。

・研究期間が1年間の場合

中間報告書(1回) 2013年3月提出

最終報告書 2013年11月提出

・研究期間が2年間の場合

中間報告書(2回) 2013年3月、2013年11月提出

最終報告書 2014年11月提出

- (5)研究発表、論文掲載等を行う場合、パワーアカデミー研究助成による研究である旨の記載をお願い致します。
- (6)今後の産学連携の推進を図る上で、情報共有が重要であることから、電力およびメーカー^(注2)に報告書等を開示させていただきます。(ただし、当該企業および機関への報告書開示に支障がある場合には、取り扱いを協議させていただきます。)

(注2):北海道電力、東北電力、東京電力、中部電力、北陸電力、関西電力、中国電力、四国電力、九州電力、沖縄電力、電源開発、電力中央研究所、日立製作所、東芝、三菱電機、富士電機、明電舎、日本電機工業会、日本電線工業会

- (7)成果報告会(2014年3月、2015年3月に予定)等での成果報告をお願い致します。
- (8)助成期間終了後にアンケートを行う予定です。ご協力をお願い致します。
- (9)助成期間終了後に、研究助成の成果アピールのために、研究概要や外部発表案件をパワーアカデミーWEBサイトに掲載させていただきます。
- (10)本研究助成により発生した知的所有権は、大学・高等専門学校側に帰属するものと致します。

7. 応募方法

応募申請書に研究内容ほか必要事項を記入のうえ、下記パワーアカデミー事務局まで郵送または電子メールでお送りください。

受付期間は、2012年7月23日(月)午後5時(必着)までとします。

なお、申請書に記載された個人情報、研究内容等一切の情報は、ご本人の承諾なく選考以外の目的には使用致しません。

*「応募申請書」はこちらです。 [応募申請書.pdf](#) [応募申請書.doc](#)

【申請書提出先】

◇郵送の場合

〒100-8118

東京都千代田区大手町1丁目3番2号 経団連会館

電気事業連合会 技術開発部内 パワーアカデミー事務局

研究助成申請書受付 宛

◇電子メールの場合

koubo12@fepc.or.jp (添付資料の容量 4MB 以下)

8. 採択通知

選考結果は 2012 年 10 月下旬に全応募者に通知致します。

9. 採用決定後の諸手続き

採用が決定した件名については、共同研究者が所属する各大学または各高等専門学校の担当部署と手続きを致します。

研究助成は寄附金(奨学寄附金)で実施致します。担当部署との手続き完了後、各校の寄附金口座へ 2012 年 12 月末頃の振込を予定しております。

10. お問い合わせ

本研究助成の内容、応募方法等についてご不明な点がございましたら、お電話または電子メールにてお気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

電気事業連合会 技術開発部内

パワーアカデミー事務局 研究助成担当

TEL:03-5221-1450

e-mail:koubo12@fepc.or.jp

以 上